

事例5

協力会社と共に組織立った 安全衛生活動で災害ゼロを目指す

阿部建設株式会社は、毎月第1土曜日に、安全衛生委員会と交友会労働災害防止協力部会（災防協）との合同パトロールを行い、指導事項を文書に記録するとともに、デジカメで撮影。会員も交えた安全対策会議を開き、注意を喚起している。

阿部建設株式会社・千葉県

阿部建設は、昭和23年に創業した地場ゼネコンで、地域の整備と発展に貢献する工事を数多く手掛け、年々、着実な成長を遂げてきた。従業員数は約120人。建築、土木、住宅、工場の4部門を中心に事業展開を図っている。

組織立った安全衛生管理を展開

同社は毎年、「安全衛生目標」や「安全スローガン」を定め、組織立った安全衛生管理を展開している。平成21年度の安全衛生目標は、「『整理整頓』『挨拶励行』を第一として職場環境の改善を図り、『事故・災害ゼロ』で一年を乗り切る」。また、安全スローガンは「災害は慣れと油断と過信から 初心に戻って安全作業」を選定し、労働災害の撲滅に全社を挙げて取り組んでいる。

同社では、毎月第1土曜日に安全衛生委員会と交友会労働災害防止協力部会(以下「災防協」)との合同パトロールを実施している。この安全パトロールの特徴的な点としては以下の点が挙げられる。

- 安全パトロールにおける指導事項を文書として記録するとともに、必要に応じてデジカメで撮影している。
- 現場を様々な面から見て問題点を洗い出す観点に立ち、安全パトロールのメンバーは固定化せず、毎月ランダムに選定している。
- 指導事項については、安全衛生委員会等において検証を行い、次回の安全パトロールにおいて是正状況を確認している。



国保旭中央病院新本館建設現場



本社ロビーに掲げられた社是と社訓



免震装置のセット状況



平成21年度安全大会



功労者表彰の1コマ



安全パトロールでの指導事項は「災防協だより」にも掲載



災防協は全国建災防大会で優良賞を受賞



講師を招いてリスクアセスメントなどを学習、各現場での活用を促す



春季安全講習会の模様

このほか、現場に緊張感を持たせるため、安全衛生委員会単独でも、毎月1回、2現場を対象に抜き打ちのパトロールを行っている。

春季・秋季安全衛生講習会は、労働基準監督署や建設業労働災害防止協会（建災防）などから講師を招いて開催している。法改正やリスクアセスメント手法を取り入れた安全活動の実践などについて講義してもらい、各作業所での活用を促している。

災害が多発する12月は、災害防止を強化するため、通常的安全パトロール（第1土曜日に実施）に加え、労働基準監督署との合同パトロールや年末パトロールなども実施している。

同社の安全衛生に対する取組みで、大きな役割を担っている災防協は、発足して約50年が経過した。その安全衛生活動に顕著な功労があったとして、平成19年度全国建設業労働

災害防止大会で、「優良賞（団体賞）」を受賞している。

品質と安全衛生の管理を一体化

同社では、平成11年に、品質マネジメントシステムの国際規格 I S O 9001 の認証を取得した。その後、建災防が厚生労働省の指針に基づいて開発した COHSMS（建設業労働安全衛生マネジメントシステム）の導入も検討した。しかし、よりシンプルかつ効率的な運用を図るため、COHSMS の手法を踏まえながら、安全衛生管理を I S O 9001 と一体化して運用する方法を選択している。

具体的には、I S O 9001 の要求事項に対応する各章のほかに、安全衛生管理の章を立て、「本社において必要な基本的事項」と「作業所において必要な基本的事項」を記載したマニュアルを作成し、システムを運用している。